

北上市市民活動情報センター NEWS

毎月第1
木曜日発行

Vol. 176
2025年12月号

地域づくり・市民活動などのご相談は北上市市民活動情報センターへ

発行 北上市市民活動情報センター
(受託者) いわてNPO-NETサポート
北上市大通り1-3-1 おでんせプラザぐろーぶ4階
☎0197-61-5035 ✉shimin@np02000.net

Instagram



facebook



北上ユネスコ協会 世界遺産の写真や絵画を募集します！

「第22回 市民の見た世界遺産と北上市の文化財展」の開催にあわせ、世界遺産の写真や絵画を募集します。

■市民の見た世界遺産と 北上市の文化財展

会 期: 令和8年2月14日(土)～16日(月)
時 間: 10時～17時(最終日は16時)
会 場: 北上市生涯学習センターミニギャラリー
(北上駅西口 おでんせプラザぐろーぶ3階)

■世界遺産の写真や絵画を募集！ 外国人の方からの応募も歓迎

北上市民が写した(描いた)国内外の世界遺産の写真または絵画を募集します。

大きさ…ワイドまたは四つ切り(パネルに添付または額装のこと)を基本に自由。

募集期間…令和8年1月14日(水)～28日(水)

作品の搬入は2月13日(金)14～15時
搬出は2月16日(月)16時
の予定です。
※詳細はお問い合わせください

■主 催 北上ユネスコ協会
■出展申し込み先
およびお問い合わせ先
北上ユネスコ協会
大森 ☎090-4885-8891



交流センターさんの / 講座まとめました

12月



情報センターブログの「12月の講座予定」ページは、印刷もできますのでご活用ください。

鬼よ燃えろ！ 冬のみちのく芸能まつり Part 16

貴重な芸能を未来に継承する舞台「冬のみちのく芸能まつり」。冬の民俗芸能の祭典にぜひお越しください。

開催日: 令和8年2月1日(日)

開 場: 午前10時
開 演: 午前10時30分
(午後4時30分終演予定)

会 場: 北上市文化交流センター
さくらホールfeat.ツガワ 大ホール



↑昨年度のチラシ

■ボランティア募集

当日、来場者を指定席へご案内するボランティアを若干名募集します。
申し込みの締め切りは12月25日(木)です。

■お問い合わせ

北上市民俗芸能協会
電話: 0197-72-7861
(平日午後1時～5時)

芸能のまち
きたかみを
一緒に盛り上げて
くれる方も募集

江釣子地区自主防災会

「文化祭×防災フェア」 防災をもっと身近に

11月1日(土)、江釣子地区自主防災会が主催する「防災フェア」が江釣子地区交流センターで初めて開催されました。

江釣子地区文化祭と併せて開催され、北上地区消防組合、北上市消防団第3分団、岩手県防災士会、江釣子地区食生活改善推進委員等が協力。親子連れ等多くの来場者で賑わいました。

当日の内容の一部をご紹介します。

当日の内容

炊き出し体験



1階ロビーでは、江釣子地区食生活改善推進委員と江釣子こども食堂ひまわり食堂のスタッフが指導し、来場者に災害救護用非常食炊飯袋を使用した非常時のごはんづくりを体験しました。

救出の実演・避難所グッズの展示



えぶりんホールでは、岩手県防災士会の協力により、チェーンブロックを使った救出の実演が行われました。

会場には、避難所テントや簡易ベッド、組み立て式トイレなども展示され、来場者はじっくりと見て回っていました。

救命講習・消防車乗車体験



和室では、北上地区消防組合の救命救急士が心肺蘇生法やAEDの使い方を指導しました。駐車場では、子どもたちに人気の消防車乗車体験も行われました。

ひまわり食堂



3階では「江釣子 ひまわり食堂」が臨時オープンし、江釣子地区文化祭に来た家族に昼食を無料提供しました。

ひまわり食堂の基本は子ども食堂ですが、子どもからお年寄りまで気軽に利用できる地域食堂、大きな災害が発生した場合は炊き出しが出来る防災食堂として「多機能・多目的食堂の全国モデルになることを目指しています。

ひまわり食堂の清水上代表は「文化祭と防災フェアを同時に開催することで、幅広い年齢層の住民に参加してもらい、防災を身近なものとして感じてもらえれば嬉しい」と語っていました。

11月16日(日)、「済生会フェア2025」が開催されました。今年のテーマは「みんなちがって、みんないい。」

昨年に引き続き人気の「お仕事体験コーナー」のほか、10か所のコラボブースでは、それぞれの違いを認め合い、支え合いながら共に生きる——“ソーシャルインクルージョン”の理念が広く発信されていました。

イベント内容の一部をご紹介します。

お仕事体験



看護師や医師の仕事を体験できる、子どもたちに大人気のコーナー。本物そっくりの模型を使った体験や、医療スタッフの生の声に触れることで、子どもたちは医療の世界をより身近に感じることができます。将来の職業選択の参考になっている様子もうかがえました。



北上済生会病院
広報企画室 掛川千恵子さん

さまざまな団体・企業とのコラボ



株式会社東北イノアックのブースでは、キッチンスポンジ等の製造過程で発生する端材の詰め放題が行われていました。



「幸呼来Japan」の販売ブースでは、寄付された着物を生かして作られた裂き織のカラフルな商品が並び、来場者の目を引いていました。



北上済生会
ホームページ



北上済生会
Instagram

北上済生会を起点として、人と人とのつながりが生まれ、新たな活動や価値が創出され、地域が活性化していく——
北上済生会病院は、地域のプラットフォームを目指し、ソーシャルインクルージョンの理念に基づくまちづくりを進めてまいります。

NPO法人 わらすばキッズ

カフェオープンへの第一歩！「SWEETS PROJECT」

NPO法人わらすばキッズは、星華学園・わらすばに通う高校生年代の子どもたちが主体となって活動する法人です。

同法人は2024年8月に設立され、現在はおよそ15名の会員が活動しています。

「SWEETSPROJECT」とは

「SWEETS PROJECT」は、わらすばキッズと北上済生会病院が協働で進める取り組みです。キッズの「お菓子を作りたい」という願いと、病院担当者の「その気持ちを大切に育てたい」という思いが重なり、プロジェクトはスタートしました。

11月に開催された「済生会フェア」でのお菓子販売を目標に、メンバーたちは管理栄養士の指導を受けながら、わらすばの調理室などで試作や練習を重ね、少しずつ製菓の技術を磨いてきました。



写真：北上済生会病院さま提供

いよいよ、お菓子の販売がスタート！



当日は高校生が、素材にこだわったシフォンケーキやマフィン、オートミールクッキーを接客販売し、どの商品も大好評のうちに完売しました。

NPO法人わらすばキッズの市原郁也代表は、「このプロジェクトでは、お菓子の製造や販売だけでなく、経営や事務といった一連のビジネスの流れを学ぶことができます。実際の体験を通して、企業や組織のしくみを理解し、将来の職業選択にもつなげてほしい」と話します。

さらに市原代表は、「キッズたちが主体となり、12月から毎週水曜日にわらすば2号棟でカフェをオープンする予定です。地域の皆さんにさまざまなメニューを楽しんでいただくだけでなく、高齢者の方々が気軽に集える居場所としても活用していきたい」と今後の展望を語っています。



NPO法人 わらすばキッズ
学生代表 佐々木 音和(とわ)さん

初めて公の場で活動し、成功を収めることができました。

12月からは2号棟でのカフェ活動の中で、地域の方々との交流を深めていきたいです。



わらすばキッズ
Instagram